

2026 年 9 月 30 日

各 位

会 社 名	株式会社 SUBARU
代 表 者 名	代表取締役社長 大崎 篤 (コード番号：7270 東証プライム)
問 合 せ 先	IR 部 長 野口 拓馬 (TEL 03-6447-8825)

SUBARU グループ「統合レポート 2026」「サステナビリティ Web 2026」を公開

SUBARU は、「統合レポート 2026」「サステナビリティ Web 2026」を公開しました※。SUBARU グループはありたい姿を「笑顔をつくる会社」と定め、「愉しく持続可能な社会の実現」と「SUBARU グループの持続的な成長」の両立を目指しています。「統合レポート 2026」「サステナビリティ Web 2026」では、この両立に向けた当社グループのビジネスモデルや成長戦略、サステナビリティの取り組みなどについて、ステークホルダーの皆様により一層ご理解いただけるよう編纂しています。

これらをステークホルダーの皆様とのコミュニケーションツールとして活用し、今後、さらなる情報開示の充実を図るとともに、当社グループのありたい姿の実現につなげていきます。

※英語版はいずれも 10 月末の公開を予定しています。

<統合レポート 2026>



<サステナビリティ Web 2026>



<ホームページ掲載 URL>

統合レポート 2026

URL : <https://www.subaru.co.jp/ir/library/annual-reports.html>

サステナビリティ Web 2026

URL : <https://www.subaru.co.jp/csr/>

■統合レポート 2026 の主な内容

SUBARU グループが長年培ってきた強みや価値創造の考え方を起点に、「SUBARU 2025 方針」の実現に向けた取り組みと、それを支える資本戦略・経営基盤を、一つの価値創造ストーリーとして紹介しています。

◇価値創造ストーリー

SUBARU が長年培ってきた強みと、「SUBARU 2025 方針」で示した「モノづくり革新」「価値づくり」の方向性をつなぐとともに、「ひとつの SUBARU」のもとでグループ体となって価値創造に取り組む姿を、持続的な成長と企業価値向上に向けた道筋として紹介しています。

◇価値創造を支える資本戦略

企業競争力を支える 6 つの資本について、個別の強みや取り組みの紹介にとどまらず、「モノづくり革新」「価値づくり」とのつながりや、各資本が企業価値向上に果たす役割が伝わる構成としています。

◇価値創造を支える経営基盤

制度や体制に加え、その背景にある考え方や経営の意思が伝わる記述を拡充しました。コーポレートガバナンスについては、2026 年 6 月の監査等委員会設置会社への移行を踏まえ、取締役会の実効性をさらに高めていく考え方と今後の方向性を、取締役会議長メッセージや社外取締役座談会を通じて紹介しています。

■サステナビリティ Web 2026 の主な内容

SUBARU グループのサステナビリティの考え方や目標、取り組みについて、ESG の視点から体系的に紹介しています。今回、読者の皆様にとって、より使いやすく有益なサイトを目指し、情報構成の改善を行いました。主な更新箇所は以下の通りです。

◇環境・社会・ガバナンス（ESG）のハブページに各取り組み記事へのリンクを新設

環境：<https://www.subaru.co.jp/csr/environment/>

社会：<https://www.subaru.co.jp/csr/social/>

ガバナンス：<https://www.subaru.co.jp/csr/governance/>

◇ESG データページを新設し、ESG に関する各種データを集約

ESG データ：https://www.subaru.co.jp/csr/esg_data/

以 上